

現代文化表現 学科

文化表現に関する知識と、
実践能力を追求し、
次世代の文化を支える人材に。

学びの分野

- マンガ
- アニメ
- ファッション文化
- 舞台
- アート&デザイン
- 映画・映像
- ポピュラー音楽

≫ 4つの学びのコンセプト

1	現代の文化表現に関する基礎的知識を身に付け、知識の幅を広げる。	「文化表現基礎論」「現代文化概論」などの必修科目で基礎的な知識を身に付け、映像、音楽、舞台芸術、ファッションなど、文化表現の主要なジャンルをカバーする総論科目を通して知識の幅を広げます。	Page ≫ 46
2	文化表現に関する知識を深め、最新のテーマ・研究に触れる。	「マンガ論」「アニメーション論」「映画論」など対象を絞った専門的な各論科目では各ジャンルの歴史や現状、理論を学びます。さらに対象をより絞った「特殊講義」では最新テーマ・研究に触れられます。	Page ≫ 47
3	実践的スキルを身に付け、文化理解を深める。	「映像表現」「デジタル表現」「マンガイラスト制作」「ブックデザイン」「アート&デザイン」「パフォーマンス」「写真表現」の基礎的技術を習得できる実習科目で文化創作を体験し、文化表現の理解を深めます。	Page ≫ 48
4	文化情報の発信に必要な「書く力」を実践的に身に付ける。	「ライティング特殊演習」で身に付けるのは、メディア、編集、情報発信、批評の4分野で求められる「書く力」。文化的プロダクツの創造や流通に関わるために必要とされる実践的なライティングスキルを学べます。	Page ≫ 49

≫ 卒業論文・卒業研究

- 時代とともに変わる殺陣の魅力
- 女性誌『non-no』からみる古着に対する意識の変遷
- アニメーション音楽を手掛ける音楽家上松範康論
- ベースボールと野球と音楽
- デジタルとアナログを融合した体感型映像の視覚的可能性について
- インスタレーションにおける鑑賞者と作品の関係性
- 劇場版『名探偵コナン』における集客力向上の戦略
- BL 漫画作品における「ヤクザもの」の需要
- クリント・イーストウッド監督作品に見る“アメリカの今”
- デザインとは何か

(2020年度テーマ例/一部抜粋)

≫ 現代文化表現学科の進路

就職率

97.1%

卒業者数 120名

就職希望者数 105名

就職者数 102名

進学者 2名

(2020年5月1日現在)

過去3年間の主な就職先

(株)ドクターシーラボ/(株)竹書房/(株)サンエー・ビーディー/(株)ディーエイチシー/(株)ユナイテッドアローズ/(株)図書館流通センター/(株)JTB/(株)ハツコエンドウウェディングス/みずほフィナンシャルグループ/日本郵便(株)/(株)三井住友銀行/(株)東京スター銀行/朝日信用金庫/城北信用金庫/明治安田生命保険(相)/(株)こまつ座/つばさグループ/ウッドオフィス(株)/(株)ケイ・ブックス/埼玉県警察/東村山市役所/幸手市役所

≫ 現代文化表現学科専門科目一覧

専門科目は1・2年次で20単位以上、3・4年次で46単位以上の計66単位以上を取得する必要がある。
※単位は各科目に配分されていて、半年ないしは1年の履修が認められれば、1単位または2単位を取得できる。

1・2年次履修科目

総論

右に記載した「文化表現基礎論」「現代文化概論」は1年次に必ず履修してください。その他の科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。1・2年次で4単位以上を取得してください。

- 文化表現基礎論
- 現代文化概論
- ヴィジュアル・カルチャー概論
- 現代社会と文化表現
- 舞台芸術と身体表現
- ポピュラーカルチャー概論
- 現代メディア表現論
- デザイン文化論
- ファッション文化論
- 現代アート論

研究入門

右に記載したA～Hは、履修すれば2単位が取得できる科目です。2年次で4単位以上を取得してください。

- 現代文化表現学研究入門 A～H

基礎実習

右に記載した各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。ただし、全て選択科目で、1・2年次に自由に履修できますが、必ず履修する必要はありません。

- 映像表現基礎実習
- デジタル表現基礎実習
- マンガイラスト制作基礎実習
- ブックデザイン基礎実習
- アート&デザイン基礎実習
- パフォーマンス基礎実習
- 写真表現基礎実習

文学部 共通専門科目

右に記載した【講義】の各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。ただし、全て選択科目で、1・2年次に自由に履修できますが、必ず履修する必要はありません。

- 【講義】
- 英語実用文法
- レトリック概論
- 言語学概論
- 芸術論
- 造形論
- 色彩論
- 装いの心理学
- 化粧の心理学
- 図書館概論
- 【実習】
- 芸術芸能実習
- 茶道/華道/香道

3・4年次履修科目

各論

右に記載した各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。3・4年次で16単位以上を取得してください。

- 文化表現とテクノロジー
- 文化表現の倫理
- 文化創造における伝統と現代
- 女性と文化表現
- 文化社会学
- アート・プロデュース論
- 写真論
- 現代言語表現論
- ポピュラー音楽論
- 映画論
- マンガ論
- アニメーション論
- 現代建築文化論
- スポーツ文化論
- コマーシャル表現論
- デジタル表現論
- 現代日本のダンスと演劇
- 現代日本のアートと批評
- 現代日本のファッション
- 現代日本のデザイン

特殊講義

右に記載した各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。3・4年次で6単位以上を取得してください。

- 現代文化表現学特殊講義
- イメージA～C/身体A～C/ポピュラーカルチャーA～C/社会A～C

特殊演習

右に記載した各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。3・4年次に自由に履修できますが、必ず履修する必要はありません。

- ライティング特殊演習
- メディアA・B/編集A・B/情報発信A・B/批評A・B

実習

右に記載した各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。3・4年次で中央段の特殊演習と合わせて4単位以上を取得してください。

- 映像表現実習
- デジタル表現実習
- マンガイラスト制作実習
- ブックデザイン実習
- アート&デザイン実習
- パフォーマンス実習
- 写真表現実習

演習

右に記載した「演習I」はAとBの2科目があり、3年次に必ず履修してください。「演習II」もAとBの2科目があり、4年次に必ず履修してください。

- 現代文化表現学演習I-II

卒業論文・卒業研究

4年次に必ず履修してください。

- 卒業論文・卒業研究

文学部 共通 専門科目

右に記載した【講義】の各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。【演習】の科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。ただし、全て選択科目で、3・4年次に自由に履修できますが、必ず履修する必要はありません。

- 【講義】
- 演劇論
- 言語哲学
- 朗読法
- コミュニケーション心理学
- 情報文化史
- 色彩象徴論
- 図書・図書館史
- 【演習】
- 情報サービス演習 A

※この教育課程表は、2021年度現在の教育課程に基づくものです。

現代文化表現学科の4つの学びコンセプト

1

現代の文化表現に関する基礎的知識を身に付け、知識の幅を広げる。

≫ 講義

「舞台芸術と身体表現」

川島京子准教授

舞台芸術の分野は未知数の学問だけに、可能性も大きい。

舞台芸術には、バレエやオペラ、歌舞伎、浄瑠璃、能などがあります。幅広く見た上で、それぞれの背景にある感動の理由を考える授業を行います。舞台芸術には、演者、舞台制作、各専門の裏方など多数の仕事があります。制作会社や海外のカンパニーを招聘する会社で活躍する道もあれば、PRしたり批評を書く道もあります。舞台芸術はまだ学問として浅い分野だからこそ、将来への大きな可能性を持っていると思います。

≫ ゼミ(演習)

「現代文化表現学演習」

さまざまなジャンルの舞台を鑑賞してレポートを作成します。特別講座として、舞台が企画され本番を迎えるまでの一連の流れを学ぶ、マネジメント講座にも参加します。特別料金で舞台鑑賞ができる機会もあります。



Kyoko Kawashima

その他の授業

- 現代文化表現学研究入門
- 現代日本のダンスと演劇
- 現代文化表現学特殊講義(身体)

ゼミ履修生の声



現代文化表現学科4年

H.S.さん
千葉県
流通経済大学付属
柏高等学校出身

舞台に関わる仕事を目指したい。

川島准教授は舞台に関するスペシャリスト。演者として舞台に立つ学生もいるゼミは、とても刺激的な環境で学べます。宝塚歌劇を見続けてきた私は、エンターテインメント業界での仕事为目标です。

現代文化表現学科の4つの学びコンセプト

2

文化表現に関する知識を深め、最新のテーマ・研究に触れる。

≫ 講義

「アニメーション論」

渡邊大輔講師

新しい領域の映像文化を通して、人生を豊かに。

アニメーションや映画、TikTokといった映像文化やその歴史を研究していきます。「アニメの研究とは、一体何をするの?」と思う人もいられるでしょう。なぜその作品が生まれたのかを知り解釈していくことで、社会情勢やそこに込められた意味を探ることができます。他の芸術と比較するとアニメは新しい文化。だからこそ、教員と学生と一緒に未知なる領域に取り組み楽しさ、その研究を未来へとつなぐやりがいを感じられると思います。

≫ ゼミ(演習)

「現代文化表現学演習」

対象を絞ったより専門的な学びとして、映像のジャンルや作品が生まれた背景、歴史などを踏まえて、現状と理論を学んで知識を深めます。興味のあるジャンルをより深掘りするため、最新のテーマや研究に触れることもできます。



Daisuke Watanabe

その他の授業

- 現代文化表現学研究入門
- ヴィジュアル・カルチャー概論
- 現代文化表現学特殊講義(イメージ)

ゼミ履修生の声



現代文化表現学科3年

E.M.さん

東京都
上水高等学校出身

YouTuberの映像作品を研究中。

映像とネットコンテンツに興味があり、映像文化論やメディア論が専門の渡邊講師の下で研究しています。「どこがどのように面白いのか」を明らかにすることで、客観的な視点を持てます。

≫ その他の授業紹介

講義

「現代文化概論」

三輪健太郎講師

文化史のダイナミックさを最新ポップカルチャーを入口にして学ぶ。

「現代映画の特徴がデジタル化にあるとすれば、過去の映画の特徴は何だろうか?」。視野を広げて掘り下げると、作品の背後に近現代史が見えてきます。マンガや映画を例に、メディアや社会との関係から文化を捉えるための観点を紹介します。

履修生の声

現代文化表現学科2年
N.S.さん

千葉県
鎌ヶ谷高等学校
出身



今まで映画を「面白いかわく面白くないか」という視点で観ていましたが、授業を受けて「表現」について意識するようになりました。映画に限らず本学科では扱うジャンルが広いので、専門を深めたい人にはもちろん、興味の範囲が広い人にもおすすめです。

≫ その他の授業紹介

講義

「現代日本のアートと批評」

要 真理子教授

アートシーンの今を作品と批評を通じて体験する。

日本の近現代のアートについて、作品分析や批評言説から背景にある思想や文化を考察します。主観的な鑑賞体験を客観的に記述できるまでが目標です。また、芸術家や美術館学芸員などをゲストに招き、現場の声を聞く機会も用意しています。

履修生の声

現代文化表現学科4年
R.H.さん

神奈川県
住吉高等学校
出身



自分の考えを書く機会が多かった講義です。作品理解にとどまらず、自分がどう感じたかを言葉で表現することが求められました。また、仲間や先生との議論を通じて、鑑賞力や思考力を鍛えることができました。アートが好きな方にはおすすめです。

現代文化表現学科の4つの学びコンセプト

3

実践的スキルを身に付け、文化理解を深める。

≫ 実習

「デジタル表現実習」

伊藤 穰教授

デジタル動画を編集しながら理解、技術の習得もできる。

デジタル技術を用いて、音楽や画像、映像の編集技術を学び、デジタルコンテンツを制作する力を身に付けます。また、デジタル表現の利点や欠点をつかみ、今後の制作に何が必要なのかを理解していきます。具体的には、画像編集や映像編集について、複数のソフトウェアを解説した上で制作課題に着手。最終的には3DCGのソフトで動画制作をすることが目標です。技術の習得はもちろん、「自分にもできた」という自信が持てます。

≫ ゼミ(演習)

「現代文化表現学演習」

3年次の演習IAではプログラムの基礎的な記述方法や動画制作の基礎技術を身に付けます。演習IB、演習IIAではプログラミング技術を用いたのWEBページ作りだけでなく、キャラクタービジュアルのネット上での展開を学び、理解を深めます。



Jyo Ito

その他の授業

- デジタル表現基礎実習
- 現代メディア表現論
- デジタル表現論
- マルチメディア基礎演習 (音楽制作)

ゼミ履修生の声



現代文化表現学科4年

A.N.さん

埼玉県
大宮光陵高等学校出身

技術だけでなく考え方から学べる。

動画の仕事に就く夢があり、技術だけでなく、土台から学べる本学科を選びました。このゼミでは、表現の基礎や考え方を一から丁寧に学べます。基礎があるから将来の選択肢も増えると信じています。



自作の3DモデルをフリーソフトMMDで動かす方法について解説中。

≫ CGについての講義と実習で理解を深める

映画作品を例にCGの変遷を学び、プロデューサー的な俯瞰する目を持つ。

講義「デジタル表現論」では、コンピュータグラフィックス(CG)技術における映像表現の変遷を追います。映画作品を実例に、1970年代に登場したCGが、1990年代に本格的に導入され、2000年代のファンタジー映画や、近年のTVドラマでも多用され

ていることを学びます。映像の楽しみ方が広がり、専門的知識が深まるだけでなく、プロデューサーのように俯瞰して編集する視点を持つようになります。上記の「デジタル表現実習」と併せて受講すれば、理論と実践の両方が習得できます。

現代文化表現学科の4つの学びコンセプト

4

文化情報の発信に必要な「書く力」を実践的に身に付ける。

≫ 特殊演習

「ライティング特殊演習(編集)」

富川 淳子教授

小冊子を編集し、「伝える、書く」力を実践的に養う。

授業の最終目的は1冊の小冊子を作り上げること。そのために必要な企画立案から原稿作成、印刷&製本に至る、編集のプロセス全てに携わることで、情報発信とメディアを作る基本的な能力を身に付けることを目指します。ポイントは「伝えたいことが伝わる原稿を書く」こと。それを実現させるライティング技術はもとより、取材や校正などの重要性も実践的に学び、文化情報の発信に大切な「書く力」を習得できるようサポートします。

≫ ゼミ(演習)

「現代文化表現学演習」

ファッション文化の基礎的研究法と論文の書き方や文献調査、データ収集の基礎を理解し、習得します。同時に卒業論文につながる研究テーマを探します。確定後はテーマの研究を深めるため、プレゼンとプレ論文提出を繰り返します。



Atsuko Tomikawa

その他の授業

- 現代文化表現学研究入門
- 現代文化表現学 特殊講義(身体)
- ファッション文化論

ゼミ履修生の声



現代文化表現学科4年

M.Y.さん

埼玉県
大宮西高等学校出身

「好き」から世界は広がっていく。

ファッションや雑誌が好きなので、そのスペシャリストである富川教授から学べるのが魅力です。ゼミの課題を通して本を読んで書く習慣が身に付き、新たな興味が湧くなど知識欲も高まっています。

≫ ワンテーマで学生が編集する冊子『Visions』

第一線で活躍するクリエイターたちと学生編集者が協働、1年で1冊を作る。

「ライティング特殊演習」の課題として制作している冊子『Visions』。毎号、本学科の学生が目指したい職業を特集しています。2020年2月発刊の号は、舞台芸術のフェス「東京芸術祭」に関わる13人を学生が取材しました。この冊子の特徴は業界の第

一線で活躍するプロのデザイナー、カメラマン、校正者と共に作り上げること。その体験を通じて「書く力」以外、「想像力」「コミュニケーション力」「洞察力」「決断力」など、編集業務以外でも必要とされる能力を身に付けることができます。



9号目となった『Visions』はオールカラー20ページの冊子。